

不可能な信仰(マルコ 12:35-37)

現実には多くの現実の問題があります。その向かうようにさせます。

のとき、悩んだりする前に、イエス様を信じている自分はどんな存在なのかを考えることができれば、証人となり勝利の人生を歩むことができます。

1. イエス様をキリストと信じたことは、神様の恵みを受けたこと。

今日の聖書箇所がダビデの子がキリストだと言っているパリサイ人たちに、イエス様が聖書から語られました。パリサイ人たちは、イエス様がキリストではないと言いたかったのです。

1) 本能的にキリストの必要を拒否

人間は、キリストを信じることを本能的に拒否します。それが罪の本性です。世の中には①希望をささやく文句がたくさんあり、あきらめずに努力すればできるから、キリストはいらないと言います。また、②ユートピアの理想があり、人間はどんどん発展してきているから、いまどんなに理不尽な現実があっても、ユートピアに向かう中でのプロセスだから落胆しなくても良いと言います。そうしていたら、限界にぶつかるので、そのときは③超越の力を頼ります。そのようにして、結局、すべてキリストはいらないという方向に

2) 人間の真相への無知と無視

聖書には、人間の真相は①エペソ 2:1-3にあるように、罪過と罪で死んでいて、空中の権威を持つ支配者、世の流れに従い、生まれながら神の御怒りを受けるべき子だと言われています。②ヨハネ 8:44、悪魔の子もだということです。それが人間の本当の姿です。しかし、世の中のメッセージは③Ⅱコリント 4:4 と言われているように、キリストを分からないようにさせる霊が働くので、キリストでなければならない本当の意味が分からないようにさせるのです。

3) キリストを必要としても誤解

イスラエルは、キリストを待ち望んでいましたが①イスラエルのキリスト(ヒーロー)であり、まわりの国を滅ぼしてイスラエルを立てると思ってました。②期待を裏切るイエス、しかし、イエス様は処女マリヤから生まれ、田舎のガリラヤ出身で、大工の息子であり、罪人や異邦人と食事をするし、十字架で死ぬと言われるので、ありえないと思ったのです。キリストを求めているも、③イエス様をキリストと信じることはできないのです。④その流れの中で、キリストはダビデの子孫

と信じることは、絶対に不可能です。

4) イエス様をキリストと信じることは絶対に不可能

不可能であることを大前提にするなら、信じることはできたのは①神様の計り知れない恵みによることが分かります。②エペソ 2:8-9 恵みによる信仰によって信じることができ、③Ⅰコリント 12:3 聖霊によってイエスを主と告白することができます。

ですから、どんな現実の前でも、イエス様をキリストと告白する自分を確かめましょう。そして、現実で自分を評価することはやめましょう。感謝とともに「私は神様に恵まれた人」と堂々と宣言しましょう！自分を大事に神様の目で見直しましょう。信仰により、

「私は、神様に祝福された人」と宣言し、刻印されるように、繰り返して告白しましょう。そして、使徒 1:7 で言われたように、心配したり思い煩うことは、「あなたがたは知らなくても良い」と言われたので、そのイエス様のことばを聞き、1:8 で言われたように、only 聖霊が臨まれるように祈りましょう！そうすれば、証人となります。邪魔になる自我、自分を下ろす練習をして、自分の考えではなく、only 聖霊が臨まれるという信仰に立ちましょう。神様からのことなので、信仰によって受けるように、朝晩繰り返し宣言しましょう！神様は私たちに祝福しようとされています。イエス・キリストを信じていること、このこと1つで、自分を改めて見て、証人となっていくことをお祈りします。

1部-マルコ 12:35-37 不可能な信仰

なるほど/人がイエス様をキリストと信じることは、本能的に不可能なことなので、もしイエス様をキリストと信じたなら、それこそ神の恵みのほかない。

ならば/現実の問題の前で、イエス様をキリストと信じる自分を確かめて、堂々と「私は神様に恵まれた人、祝福された人」と宣言して、道に迷わず使徒 1:7-8 に立とう！

2部-マタイ 6:31-33 信者の祈り

なるほど/異邦人とは違う信者の祝福の身分を確認すると、信者はまず、三位一体の神様が自分のうちに働かれ、神に栄光になり、神の栄光が自分を通して世に現れることを祈り、神の国を求めようになる。

ならば/自分の祈りをチェックして、神様が自分の主人となり治めることを願い祈ろう！